Logitec

Bluetooth バージョン 2.1+EDR 対応

Bluetooth ワイヤレススピーカー Bluetooth送信機セット

LBT-TVSP100シリーズ

取扱説明書 V01

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Bluetoothワイヤレススピーカーの使用方法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

製品の特長

本製品は、Bluetooth ワイヤレススピーカーと Bluetooth 送信機のセットです。テレビなどのヘッドホン端子に送信機を接続し、ヘッドホンとの簡単接続操作で、ワイヤレスで音声を送信し、スピーカーから聴くことができます。
スピーカーは、一般の Bluetooth スピーカーと同様なので、お手持ちのスマートフォンやオーディオプレーヤーと接続して使用することもできます。通話用のマイクを搭載しているので、ハンズフリー機能に対応している機器との接続ならスピーカーを通じて、通話も可能です。「Bluetooth2.1+EDR」に対応しており、同規格に対応した機器と簡単にペアリング操作を行うことができます。

●apt-X コーデックに対応しているので、apt-X 対応の Bluetooth 機器との接続の際に、従来の Bluetooth では実現できなかった低遅延、かつ高音質で音楽を転送することができます。

●汎用性の高い Bluetooth での接続なので、幅広い Bluetooth 機器で使用することができます。

本製品は、Bluetoothで接続機器と接続します。ご使用になる前に、付属のBluetooth送信機や接続機器（スマートフォン/オーディオプレーヤー)とペアリング操作によって登録を行う必要があります。

以下の情報はスマートフォン、携帯電話と接続のときに必要な情報です。

■ 携帯電話やパソコンから検索するときの本製品の名称(デバイス名)
→ LBT-SP100

■ パスキー
→ 0000（ゼロ4つ）

※パスキーは、Bluetooth2.0以下の規格の機器と接続する場合に必要です。

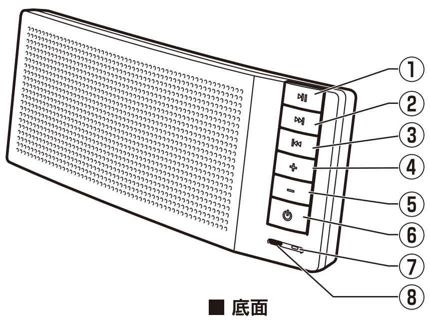
パッケージ内容の確認

･スピーカー本体	1台	･Bluetooth送信機	1台
･スピーカー用ACアダプタ	1個	･USB充電、給電ケーブル	1本
･簡単ペアリングガイド	1部	･RCA変換ケーブル	1本
･ユーザーズマニュアル(本書)	1部	･USBーACアダプタ	1台

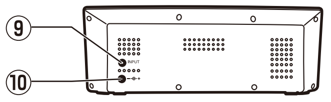
各部の名称とはたらき

Bluetoothワイヤレススピーカー　LBT-SP100

■ 前面

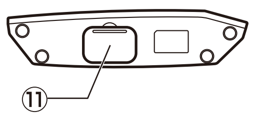


■ 背面

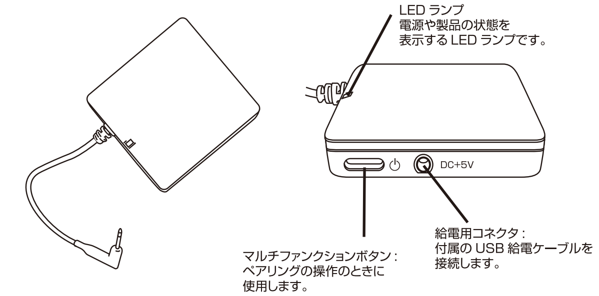


■ 底面

（正面方向）



Bluetooth送信機　LBT-AT01



各部の名称とはたらき

① **再生／一時停止ボタン*** ▶ll		接続機器の音声を再生／一時停止します。
② **スキップボタン*** ▶▶l		次の曲にスキップし、曲の最初から再生を始めます。
③ **リワインドボタン*** l◀◀		前の曲にスキップし、曲の最初から再生を始めます。
④ **音量ボタン（+）**		音量を大きくします（ペアリング確認音などは変更できません）。
⑤ **音量ボタン（ー）**		音量を小さくします（ペアリング確認音などは変更できません）。
⑥ **マルチファンクションボタン** ⏻		本体の電源オン／オフ、接続機器とのペアリングをおこないます。
	電源オン／ペアリング	LEDランプが青色に点灯するまで（約4秒）長押しすると、電源が入ります。その後、直前まで利用していた機器に接続を試みます。 LEDランプが赤色と青色に交互に点滅するまで（約8秒以上）長押しすると、ペアリングモードになります。 周囲にペアリング済みの機器がない場合は、約5分後に電源がOFFになります。接続が完了すると、LEDランプがゆるやかな点滅（数秒に1回1秒程度の点灯）に変わります。
	電源オフ	電源がオンのときに4秒以上長押しすると、LEDランプが点滅したあと、電源がオフになります。
⑦ **マイク**		音声を入力するためのマイクです。
⑧ **LEDランプ**		電源やペアリングの状態を示すLEDランプです。
⑨ **外部入力端子****		Bluetoothに対応していない外部機器を接続します。 付属または市販のφ3.5mmステレオミニケーブルで、接続機器のLINE OUTまたはヘッドフォン端子と接続します。 外部入力端子に機器を接続すると、Bluetooth機器との接続は自動的に解除されます。ボリューム調整は、接続機器側でおこなってください。
⑩ **電源コネクタ**		付属のACアダプタを接続します。 必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。
⑪ **電池ボックス**		別売りの単3型乾電池を取り付けます。

*AVRCPプロファイル対応の機器のみ有効です。
**接続機器によっては正常に動作しないことがあります。外部入力端子に関しては、以下の点もご注意ください。

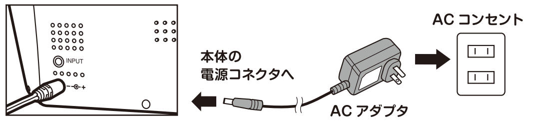
- 外部入力端子に機器を接続すると、Bluetooth機器との接続は自動的に解除されます。
- 本体の操作ボタン（再生／一時停止、音量調整、スキップ／リワインド）は、機能しません。外部機器側で操作してください。
- 外部入力端子に機器を接続している場合は、ペアリング操作はできません。
LEDランプは赤色に点灯したままになります。

機能一覧表

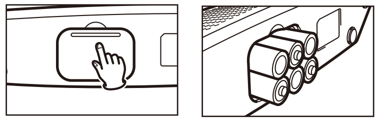
機能・状態	操作	LED 表示
電源 オン	電源が オフの時にマルチファンクションボタンを約 4 秒長押し	青点滅
オン後の状態	いずれの機器とも接続されていない状態	3秒毎に青色2回点滅
	SBCコーデック対応の機器との接続時	8秒毎に青色2回点滅
	AACコーデック対応の機器との接続時	8秒毎に青色1回点滅
	apt-Xコーデック対応の機器との接続時	8秒毎に青色3回点滅
電源オフ	マルチファンクションボタンを約4秒長押し	赤点滅後消灯
ペアリングモート	電源オフの状態からマルチファンクションボタンを約8秒長押し	赤色と青色で交互に点滅
音量調整	音量ボタンの＋、ーで操作します。	-
一時停止 / ミュート	再生 / 一時停止ボタンを一度押す	-
曲送り / 曲戻し	スキップ/リワインドボタンで操作します。	-
電話を受ける	着信中にマルチファンクションボタンを短く一度押す	-
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを短く一度押す	-
リダイヤルする	待受け時にマルチファンクションボタンを続けて2度押す	青ですばやく点滅

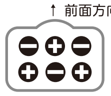
STEP 1 スピーカーに電源を接続します

本製品は、付属のACアダプタと接続して給電します。



本製品は、市販の単三乾電池6本でも動作します。





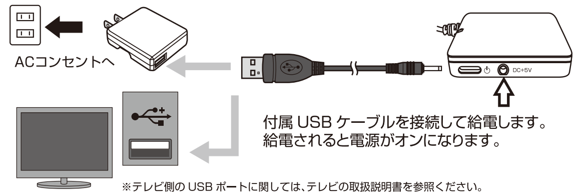
本体底面
向きに注意してください！

電源を接続したら、本体の電源を入れ動作することを確認してください。

- アルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- 電池を入れ替える際は、すべて新品の電池にしてください。古い電池を混ぜないでください。

テレビと接続する

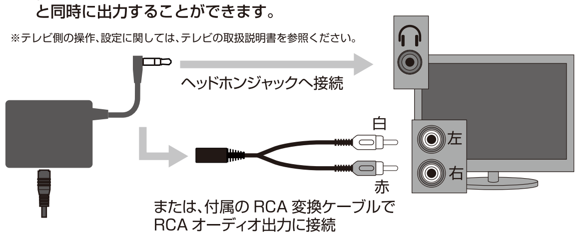
1 Bluetooth送信機に給電ケーブルを接続し、付属のACアダプタやテレビのUSBポートと接続をします。給電されると電源がオンになり、LEDランプが青色で点滅します。



※テレビ側の USB ポートに関しては、テレビの取扱説明書を参照ください。

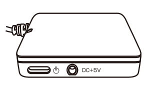
2 Bluetooth送信機をテレビのイヤホンジャックに接続します。付属のRCA変換ケーブルでテレビのRCAオーディオ出力に接続することもできますので、テレビのスピーカと同時に出力することができます。

※テレビ側の操作、設定に関しては、テレビの取扱説明書を参照ください。



Bluetooth送信機の動作

Bluetooth送信機は、給電がされている間、電源がオンになります。電源がオンになると、ペアリングされた機器から接続相手先を探し、自動で接続を試みます。
Bluetooth送信機をペアリングモードにするには、給電された状態から、マルチファンクションボタンの約8秒の長押しします。

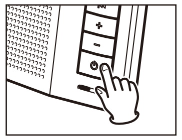


STEP 2 ペアリングします（機器の登録）

はじめにお使いになる際は、スピーカーとBluetooth送信機を関連付けるペアリング操作が必要になります。

すでにペアリング(登録）済みの場合は、電源がオンになった時点でボタンから手を離してかまいません。電源をオンになった後、自動的に再接続されます。接続されない場合、スピーカーのマルチファンクションボタンを一度押し、接続を試みてください。

1 **電源オフの状態から、マルチファンクションボタンを8秒以上長押しし、LEDランプを赤青点滅させます。**



ボタンを押し続けている8秒間に、LEDランプの表示は次のように変わります。

青で数回点滅 → **赤青点滅**
（電源 オン約４秒後）（ペアリングモード 約8秒後）

2 **Bluetooth送信機のマルチファンクションボタンを約8秒長押しし、LEDランプを赤青点滅させます。**

青で数回点滅 → **赤青点滅**
（押してから約５秒後）（ペアリングモード 約8秒後）

3 **スピーカーとBluetooth送信機の双方のLEDランプが赤青点滅の状態にした後、暫く待ちます。ペアリング後、接続が完了すると、LEDランプがゆるやかな青色の点滅に変わります。これで、接続は完了です。**

■スマートフォンなどその他のBluetooth機器と接続する場合

スマートフォンや携帯オーディオプレーヤーとスピーカーを接続する場合は、スピーカーをペアリングモードにした後に、Bluetooth機器から検索をします。
本製品が見つかると、デバイス名「LBT-SP100」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。

本製品の組合せ以外で使用される際は、接続する機器側の操作は、接続される機器側の取扱説明書をお読みください。

パスキーの入力を促すメッセージが表示されたら、「0000」（ゼロ4つ）と入力します。
※Bluetooth 2.1対応機器ではパスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。

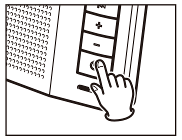
- ペアリング情報は、8つまで記憶できます。8つ以上登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1+EDR」に準拠しています。対応機器と接続する場合は、パスキーの入力を省略できます。
- スピーカーは、SBC/AAC/apt-Xのコーデック/送信機はSBC/apt-Xに対応しています。接続されるコーデックは、接続先の対応状況によって自動的に選択されます。

STEP 3 基本操作

電源のオン／オフ

■ 電源オン

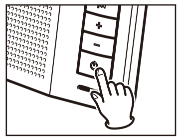
スピーカーのマルチファンクションボタンをLEDが青色で数回点滅するまで（約４秒）長押しします。電源オン後ペアリングのされたBluetooth送信機と自動的に接続されます。接続後、スピーカーから、送信機に接続された機器（テレビなど）の音声を聞くことができます。



青で数回点滅するまで長押しする。
（電源 オン約4秒後）

■ 電源オフ

電源がオンの状態から、本製品のマルチファンクションボタンを5秒以上長押しします。LEDランプが赤色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。



赤で数回点滅するまで長押しする。
（電源 オフ約4秒後）

オートパワーオフ機能について

電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合は、接続待ちの状態になり、ゆるやかな青点滅を繰り返します。
そのまま約 5 分経過すると、LED ランプが赤で点滅し、電源がオフになります。

ミュート機能

本製品には、接続後に再生/一時停止ボタンを押すことで、音声出力をミュートにすることができます。
接続後、音が出力されない場合には、ミュート機能がオンになっていて音声が出力されない状態になっている可能性がありますので、再生/一時停止ボタンを押してください。

音が出力されない場合は、以下の点をご確認ください。
■接続されたスピーカーや、スピーカーの音量の調整を試みてください。
■マルチファンクションボタンを押し、製品がミュートになっていないか確認します。
■送信機を接続した機器から音声信号が出力されているかどうか、また音量をご確認ください。

スマートフォンと接続して使う

音楽を聴く

スピーカーは、同梱の送信機以外にも、A2DPに対応したスマートフォンや、Bluetooth対応の音楽プレーヤーと接続して音楽を聴くことができます。
AVRCP対応のスマートフォン、音楽プレーヤーとの接続なら、本製品からプレーヤーの操作をすることができます。

リモコン機能動作は、接続する機器や使用する音楽プレーヤーのアプリケーションによって動作しないことや、動作が異なることがあります。

■ 音楽の再生/一時停止／ミュート

本製品の再生/一時停止ボタンで行います。
再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止します。
AVRCP非対応機器の場合は、音声がミュートします。

■ ボリューム調整

ボリューム調整は、音量ボタンを押して行います。

■ 曲送り/曲戻し

曲送り/曲戻しはスピーカーのスキップボタン/リワンドボタンを押して行います。
※ 接続先の機器により機能しない場合があります。

携帯電話などで通話する

スピーカーとHFP/HSP対応の携帯電話やスマートフォンを接続すれば、本体の通話用マイクを通じて、通話することができます。

●以下に説明する機能は、ヘッドセットプロファイル(HSP)およびハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングしたときのみ利用できます。
●携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。携帯電話側のマニュアルを参照ください。

■ 電話を受ける

着信があると着信音が聞こえます。このとき音楽を聴いている最中の着信の場合、音楽の再生が中断されます。マルチファンクションボタンを押すことで、そのまま通話することができます。

※携帯電話の仕様のため、スピーカーから着信メロディの出力が設定できない場合があります。

■ 発信する

任意の相手先に発信する場合は、ご使用の携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切替えを行います。
※出力先切り替え方法についてはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

■ 電話を切る

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。

■ リダイアルをする。

マルチファンクションボタンを2回連続押します。

困ったときは...

■ 音声が聞こえない

送信機を接続したテレビなどの音量、接続先の Bluetooth スピーカーの音量を確認してください。
また、接続機器と再度ペアリング操作や再接続を試してください。

■ 本製品の電源が入らない。

送信機は、通電した USB ポートからの給電が必要です。コネクタが正しく接続されているか、USB ポートに電源が通じているか確認してください。

■ 携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

■ 電源を入れても、自動的に再接続されない

自動で再接続されない場合は、ヘッドホン側のマルチファンクションボタンを押して再接続できるか試してください。

■ 通話相手に自分の声が聞こえない

一部の携帯電話では、イヤフォンのマイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドセットのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。

■ 着信前に留守番転送されてしまう

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

■ オーディオファイルの音声が聞こえない

ファイルやWebサイトよってはBluetoothでのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。

■ Bluetooth搭載機器とペアリングできない

○機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
○ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。

■ 携帯電話でワンセグ以外の動画音声が聞こえない

携帯電話の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオ等の音声はBluetoothでは聴取できない場合があります。

■ 発信時にハンズフリー通話ができない。

携帯電話から発信した場合、スピーカ/マイクを本体からBluetoothスピーカーへ切り替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

【一般的な操作】

iPhone4の例	⇒発信後→音声出力先に本製品(LBT-AR120)を選択。
Androidの一例	⇒発信後、Menuボタンを押し、Bluetoothのボタンを押す。
docomoの一例	⇒発信後に「通話」ボタンを長押しします。
auの一例	⇒発信後、「EZ」ボタンを押します。

■ 自分の声が小さい

携帯電話等、出力先の機器のマイクレベルを調整してみてください。

■ 利用中、接続できなくなった

使用の方法によっては、ペアリング済みのスピーカーでも利用後に再度ペアリングからやり直す必要がある場合があります。

■ 自動で再接続されない。

接続する機器によっては電源をオンにした後、接続操作が必要になることがあります。
接続する機器の説明書を参照頂き、接続操作を試してください。
多くの機器では、マルチファンクションボタンを短く一度か二度押すことで接続操作となります。

■ ノイズや音が途切れる

本製品は 2.4GHz 帯の電波を利用した Bluetooth 規格を採用しています。見通しで 10m の距離の到達距離でお使いいただけますが、送信機と接続機器の間の遮蔽物によって離れた場所では、ノイズや音の途切れが生じることがあります。その場合は、送信機と接続する機器の見通しを確保することで改善する場合があります。
また、電子レンジや、Wifi などと干渉し、ノイズや音が途切れることがあります。
給電に使用する USB 電源に由来するノイズが発生することがあります。その場合は、給電に使用する電源を切り替えるなどを試してください。

取り扱い上の注意

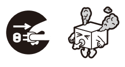
■ 正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

⚠警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

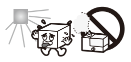
● **万一、異常が発生したときは.**

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをパソコンまたはUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。



● **高温のまま放置しないでください。**

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



● **車の中には絶対に放置しないでください。**

本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

● **着信音量の設定には十分気をつけてください。**

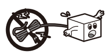
携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

● **分解しないでください。**

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

● **接続に使用するコードを傷つけないでください。**

火災や断線の原因となります。



● **病院内や航空機の中などでは使用しないでください。**

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

⚠注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。

● 水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

● 小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。

誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください 。

● ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

● 日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

右上に続く

■その他：こんなことにも注意してください

・ 衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
・ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
・ 温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
・ 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

■ 電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

● この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
● 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
● その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください

使用周波数帯域	：2.4GHz
変調方式	：周波数拡散方式 FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）
想定干渉距離	：約 10m（障害物のない場合）
周波数変更の可否	：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

サポート修理受付窓口のご案内

■ 製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、国外での使用、国外からの問い合わせにはサポートをおこなっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.
よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。
ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp　（"http:"は必要ありません）

テクニカルサポート（ナビダイヤル）
0570 － 022 － 022
月～土（祝日営業）10:00-19:00　※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に、以下の内容をご用意ください。
• 弊社製品の型番
• ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
• ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）
※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■ 修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。
This warranty is valid only in Japan.
製品本体、AC アダプタ以外の付属品 * は、保証対象ではありません。
付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。

http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html

* 付属品の例：イヤーフック、イヤーキャップ、イヤホン、ケーブル類、スタンドなど
依頼の手順、修理依頼書（PDF ファイル）をインターネットへ掲載しております。また、修理終息製品の検索も可能です。ご利用が可能であればご確認をお願いします。

http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 修理ご依頼時の確認事項

・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
・保証期間の有無にかかわらず、ご送付いただく際の送料はお客様負担となります。
・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
・依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所 / 電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒 396-0111　長野県伊那市美篶8268番地1000
ロジテック株式会社 3 番窓口 エレコムグループ修理センター
TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403

●電話受付時間月～金　9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せについては、テクニカルサポートへお願いします。

基本仕様

LBT-TVSP100

製品仕様		Bluetoothワイヤレススピーカー
デバイス名		LBT-SP100
Bluetooth仕様		Bluetooth2.1+EDR
キャリア周波数		2.4GHｚ帯
周波数拡散方式		FHSS
伝送距離		最大半径約10m（ただし障害物を除く）*1
対応プロファイル *2		HFP/HSP(ハンズフリー通話機能)
		A2DP(音楽機能)
		AVRCP（リモコン機能）
対応コーデック		SBC/AAC/apt-X
SCMS-T		対応
記憶可能なペアリング台数		8台
消費電力		13.5W（定格、ACアダプタ利用時)
定格出力		4.5W+4.5W
環境条件	動作時温度/湿度	0℃～35℃　20%～80%（ただし、結露なきこと）
	保管時温度/湿度	-10℃～45℃　10%～90%（ただし、結露なきこと）
入力電圧		DC +9V（付属のACアダプタから給電）
外形寸法(幅×奥行×高さ)		215×52×72mm（突起部除く）
質量		約256g（ACアダプタ、乾電池除く）

*1　理論値です。また、距離は、通信対象のBluetooth機器の性能や、周囲の環境に依存して変化します。
*2　一台で音楽ファイルと通話ファイルを同時に使用している場合、別の機器との接続はできません。

製品仕様		Bluetooth オーディオ送信機
デバイス名		LBT-AT01
Bluetooth 仕様		Bluetooth2.1+EDR
キャリア周波数		2.4GHｚ帯
周波数拡散方式		FHSS
伝送距離		最大半径約 10m(ただし障害物を除く）*1
対応プロファイル		A2DP(音楽機能）
対応コーデック		SBC/apt-X
環境条件	動作時温度 / 湿度	0℃～ 35℃　20% ～ 80%(ただし､結露なきこと)
	保管時温度 / 湿度	-10℃～ 45℃　10% ～ 90%(ただし､結露なきこと)
入力電圧		DC +5V(USB 充電ケーブルから給電)
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)		45×6×33mm
質量		約 8g

● 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。
● 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

Bluetooth ワイヤレススピーカ、Bluetooth送信機セット取扱説明書
（LBT-TVSP100シリーズ 用）
2011 年 6 月　第 1 版
ロジテック株式会社

© 2011 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.